

闘え!商大

SHODAI SPORTS 商大スポーツ

2015プロ野球ドラフト会議を見守る会  
10月22日 大阪商業大学ラビックホール

# プロへ羽ばたく 三羽鳥

大阪商業大学  
Osaka University of Commerce

# ドラフト2 吉持 楽天入団

# ドラフト1 岡田 広島入団



**硬式野球部**  
3年連続でのプロ野球選手誕生に大商大が沸いた。今年度は現役・OB合わせて3人がドラフト上位指名された。1位に岡田明丈投手、2位に吉持亮汰内野手とOB・近藤大亮投手だ。大商大からのドラフト1位指名は、OB・齊藤明雄氏、OB・柳原隆弘氏以来、38年ぶり3人目の快挙となった。



# ドラフト2 近藤

大学のときからプロを目指していたので、地元の球団に入れてうれしい。1軍に定着して活躍したい。

OB・近藤大亮投手は、浪速高校から2010年、大商大に入学。1年次から関西六大学秋季リーグ戦に登板し、結果を残し平古場賞を受賞した。2013年、秋季リーグ戦では最優秀投手賞に選ばれ優勝に大きく貢献した。さらに関西地区大学選手権では史上初のノーヒット

# オリックス入団



OB・谷佳知選手(1994年度卒)は、大商大在学中、関西六大学リーグ三冠王を達成。最優秀選手にも選ばれ、ベストナインも3度受賞した。卒業後は三菱自動車岡崎を経て、1996年にオリックス・ブルーウェーブにドラフト2位で入団すると、盗塁王、リーグ最多安打、ベストナイン、ゴールドグラブ賞(2002年)など、数々のタイトルを獲得。2001年にはシーズン二塁打の日本記録も樹立した。2015年10月3日、京セラドーム大阪での現役最終打席で、通算1928本目の安打を放ち、19年間のプロ野球生活に別れを告げた。文/江見拓人(経営4年・興國高)



**ドラフト会議**  
岡田明丈(経済4年・大商大)がドラフト上位指名候補に挙がるようになったのは、4年次になってからだ。今年度から制球力が安定し、力強い直球で関西六大学リーグ戦では負けなしの12勝を挙げ、最優秀投手賞に2季連続で選ばれた。一方、吉持亮汰(経済4年・広陵高)は、1年次から出場し、2年次には明治神宮大会にも出場。4年の春には首位打者に輝き、盗塁数もリーグ通算62と、その俊足と強肩が早くからスカウトに注目されていた。

10月、岡田と吉持はチームメイトが見守る中、一緒に運命の瞬間を迎えた。岡田は広島東洋カープから単独1位指名、そして、吉持は東北楽天ゴールデンイーグルスから2位指名を受けた。お互いの運命の瞬間をこう振り返った。

「岡田の1位指名はすごい。4年間一緒にプレーできたことを誇りに思う(吉持)」「吉持が選ばれてとにかく嬉しかった。同じプロの世界でプレーできるのがうれし(岡田)」

12月、入団が決まり、プロへの挑戦が始まった。岡田は自分が成長したところを見せられたらと先輩との対戦を楽しみにしている。さらに楽天を代表するだけでなく、日本を代表する投手になりたい。新人王を獲得、吉持は「自分の足で勝負して盗塁王を狙う。長い間活躍できる選手になりたい」と抱負を語った。

現在、1軍にはOBで活躍する選手がたくさんいる。中日ドラゴンズの桂依央利捕手(2013年度卒)と金子丈投手(2014年度卒)は、一緒にプレーした仲だ。同じセリーグになった岡田は自分が成長したところを見せられたらと先輩との対戦を楽しみにしている。さらに楽天一は遠かった。後輩には自分たちが成し遂げられなかった日本一を目標に、とにかく頑張りたい(吉持)。「個々の意識改革が必要。特に投手陣はマウンド上では一人だから、一人一人が力を付けなければならない(岡田)」と後輩の成長に悲願の日本一を託した。

第16号

1面	硬式野球部
2面	ウエイトリフティング部 空手道部
3面	ボクシング部 合気道部 柔道部 ライフル射撃部
4面	硬式野球部 準硬式野球部

※文中人名後の( )内は、所属学年・出身高校



# 完全優勝で32年ぶりV2



関西六大学野球秋季リーグ戦 8月29日～10月19日 わかさスタジアム京都他 <10勝3敗>

## 硬式野球部

春季リーグ戦完全優勝を果たした大商大。主将の新谷承基(経済4年・福知山成美高)は「連覇に向けて気持ちを切り替えないようにするのが難しかった」と振り返った。

都産大大学戦。9月14日、最大のライバルとの第1戦は乱打戦となった。大商大は1回表に先制したものの、3回裏に追い付かれる。しかし、ここから打つことしか考えていなかったという新谷の1打で5回表に勝ち越したが、8回裏にはまたもや追い付かれてしまう。その後は動きがなく、13回からタイブレークに突入した。タイブレークでは先頭打者・一番吉持亮汰(経済4年・広陵高)がレフトへの犠飛を放ち1点、さらに適時打で1点を追加した。裏の守備では岡田から継投した小屋

裕(公営3年・神戸国際大)に所属する。この試合は6-4で勝利した。第2戦は投手戦となったが、延長12回に1点を取られ敗戦。翌日に行われる予定だった第3戦は雨天順延となった。その間、大商大は第4節・神戸学院大学戦では2勝敗し、第5節・龍谷大学戦では連勝した。第1戦は9回表に新谷の適時二塁打で奪った1点で勝負が決まり、第2戦も苦戦しながらも9回裏に押し出しでサヨナラ勝ちし、大きな勝ち点を手にした。こうして勝ち点を3つと迎えた10月8日、延期(経済1年・高松東高)

となっていた京産大との第3戦が行われ、これが優勝決定戦となった。試合は岡田が3回表に1失点してしまうも、7回まで抑えられていた大商大は春季王者の意地を見せ、日下部光(経営2年・福知山成美高)と坂田一平(公営2年・広陵高)の適時打で逆転勝ちし、見事優勝を決めた。

その後、大阪経済大学にも勝利し、春に続く勝ち点5の完全優勝で32年ぶりの連覇を成し遂げた。

「関西六大学野球秋季リーグ戦」 優勝(2季連続9回目)

最優秀選手賞	新谷 承基(経済4年・福知山成美高)
最優秀投手賞	岡田 明丈(経済4年・大商大)
首位打者	黒田 祐成(公営3年・大垣日本大)
ベストナイン(投手)	岡田 明丈(経済4年・大商大)
ベストナイン(捕手)	太田 光(公営1年・広陵高)
ベストナイン(一塁手)	山崎 幸征(経済3年・汎愛高)
ベストナイン(遊撃手)	吉持 亮汰(経済4年・広陵高)
ベストナイン(外野手)	新谷 承基(経済4年・福知山成美高)
ベストナイン(外野手)	黒田 祐成(公営3年・大垣日本大)
ベストナイン(外野手)	滝野 要(公営1年・大垣日本大)
平古場賞(新人賞)	滝野 要(公営1年・大垣日本大)

「第13回関西六大学野球選手権大会 兼第46回明治神宮野球大会関西地区第1・2代表決定戦」 敗者復活2回戦敗退

「関西六大学野球秋季新人戦」 優勝 最優秀選手賞 井上 和哉(経済1年・松山商業高)

「第9勝3敗0分」 阪神六大学準硬式野球連盟秋季リーグ戦 8月25日～10月18日 大阪工業大学校方キャンパス野球場他

# 春 連 秋 覇!!

## 硬式・準硬式ともに

## リーグ戦

「阪神六大学準硬式野球連盟秋季リーグ戦」 優勝(2季連続65回目)

最優秀選手	白川 拳斗(公営3年・立正大湘南高)
最多勝利投手	越智 俊貴(商3年・西条高)
盗塁王	坂本 諒太(商2年・倉敷商業高)
ベストナイン(投手)	越智 俊貴(商3年・西条高)
ベストナイン(一塁手)	岸 尚輝(経営3年・金沢学院東高)
ベストナイン(三塁手)	白川 拳斗(公営3年・立正大湘南高)

「秋季関西地区大学準硬式野球選手権大会」 1回戦敗退

「第24回関西地区大学六リーグ対抗準硬式野球大会」 1勝3敗1分

阪神六大学準硬式野球連盟選抜メンバー	
(投手)	越智 俊貴(商3年・西条高)
(一塁手)	岸 尚輝(経営3年・金沢学院東高)
(二塁手)	森 太一(商3年・京都国際高)
(三塁手)	白川 拳斗(公営3年・立正大湘南高)
(遊撃手)	坂本 諒太(商2年・倉敷商業高)

「第7回日台大学親善準硬式野球大会」 2勝1敗1分

全関西選抜チーム台湾選抜メンバー	
(投手)	越智 俊貴(商3年・西条高)

「進硬式野球部」 阪神六大学準硬式野球連盟秋季リーグ戦、大商大は最終戦で大阪府立大に勝利し、悲願の春秋連覇、そしてチームと連盟の最多優勝記録を65回に伸ばした。「春季のメンバーが多残だったので、チームとしての形はそのままに力の底上げをした」と主将の吉川(経済3年・福井商業高)。「その新主将が優勝の立役者と称賛

したのがエースの越智俊貴(商3年・西条高)と、主に一番を任せられた白川拳斗(公営3年・立正大湘南高)だ。越智は1年次から主力として登板を重ね、今年度は台湾で行われた国際大会への遠征メンバーに選ばれた。越智は「優勝はもちろんだが、全国大会出場が目標。上に行くためには大事な場面でのミスを減らしたい。オフシーズンの間に基礎から見直したい」と力強く語った。同時に前主将の福家雅隆(経営2年・明石南高)が再びやってくる。この経験で学んだことをこれから生かしてさらに素晴らしい活躍を期待している。素晴らしい物を作ってもらいたい。(江見)

# 優勝記録更新V65

SHODAI SPORTS 商大スポーツ

発行編集 大阪商業大学 学生生活課 課外活動支援室(スポーツセンター)

印刷 日本ビジネスアート株式会社

我楽多

▼体育会本部広報部長に就任しました。これまでさまざまなクラブの応援に行きましたが、強いクラブはどこも礼儀正しいと思いました。そんなクラブたちを撮影するときに、いい写真を撮ろうと意識しなくてよかった。撮れることに気がつき、写真を撮るのがさらに楽しくなりました。もうひとつ、表情を写真に収めていきたいです。(井戸垣)

▼今号を区切りしに広報部長を代わりし、新部長は代わって、新部長との連携が取れたので、私自身すごく余裕を持って書くことができました。今号は1年生にも少し関わってもらいました。次号では1年生の活躍に期待したいです。2年生には良い意味で1年生を巻き込んでほしいと思います。そして、商大スポーツを通してより多くのクラブ生と関わっていきたくて思いました。(高本)

▼今号が最後の商大スポーツ作成になりました。2年生で初めて記事を書いたときは、文章を全く書けず納得のいく物を作ることができませんでした。回を追うごとに書けるようになりました。1面を担当した号はレイアウトを考えるのが大変でしたが、苦勞以上の物を得ることができました。この経験で学んだことをこれから生かしてさらに素晴らしい活躍を期待している。素晴らしい物を作ってもらいたい。(江見)

※文中人名後の( )内は、所属学科学年・出身高校